

# 我如古 がにく 歴史文化遺産マップ

上杉県令の通ったルート (想定) — — —

※私有地にある場合もあるので見学の際は注意しましょう

## ④チンガーガマ



井戸掘りの際に発見された洞穴です。沖縄戦の際には避難壕として利用され、多くの住民の命を救ったそうです。入口はちヶ所あり、井戸として利用されていました。



## ⑤我如古平松



かつて樹齢 300 年を誇る立派な平松が県道沿いにありました。枝ぶりも 300 坪ほどありましたが沖縄戦で失われてしまいました。現在は我如古公民館に 2 代目の平松があります。

## ⑥ウブガーヌシッティ



クシヌカーラ (志真志川) 沿いにあったガマで、地下に大きなクムイ (池) があったといわれています。イリヌカーにつながっています。

## ⑦本部御殿墓



本部御殿は、第二尚氏王統第 10 代尚質王の六男・尚弘信、本部王子朝平を元祖とする王族です。その墓は亀甲墓で、内部には 10 基の厨子甕が確認されています。

## ③イリヌカー



産泉 (ウブガー) として住民に利用されてきました。湧き出た水は西側のガマに吸い込まれてウブガーヌシッティへと続きます。我如古の聖地でもあります。

← イーヌモ

## ①我如古ヒージャーガー (市有形民俗文化財)



1892 年、二人の石工の指導のもと住民総出で整備されました。石灰岩の切石で整備され、昔から住民の生活用水や若水、産水として利用されていました。集落の重要な聖地でもあります。

## ②我如古上之川橋



志真志川にかかる長さ 3.5m、幅 2.2m の一枚岩でできた石橋です。かつては西原村から字普天間に至る古道でした。

## 我如古スンサーミー (市指定無形民俗文化財)



我如古区に伝わる伝統芸能です。伝承によると我如古グスク築城の際に披露されたのが始まりとされ、その後豊年や子孫繁栄を願って旧暦 8 月 17 日に行われていました。いつの頃からか旧暦 3 月 3 日に改められています。

戦前までは我如古平松の下で行っていましたが、女性たちが輪になって踊り、三月祭りや豊作を祈ります。

現在では、旧暦 3 月 3 日の後の日曜日に公民館で行われています。

## ⑨我如古の陣地壕群



沖縄戦時に構築された日本軍の陣地壕で、比屋良川沿いにあります。複数の出入り口があり、内部でつながるように構築されています。壕からは 100 以上の砲弾が見つかっています。

## ⑩メーヌワイトゥイ (前の切通し)

我如古集落の南、現在の中部商業高校がある場所にはかつて、イーヌモーという丘陵があって 3 つの切通しがありました。メーヌワイトゥイは西原村へ続く県道沿いにあります。現在の我如古南交差点、我如古第 2 歩道橋が架かるあたりです。

## ⑪ナカヌワイトゥイ (中の切通し)

集落南東側の切通しです。ワイトゥイの手前には、サトウキビのしぼりかすを干すためのくぼ地がありました。現在の交通裁判所の通りにありました。

## ⑫クシヌワイトゥイ (後の切通し)

集落東側のワイトゥイです。集落の後方 (北東) から東側へと続く道沿いにあります。現在の中部商業高校正門前の通りです。



ワイトゥイ (切通し) とは、山や丘を掘削して交通を行えるようにした場所です。



## ⑧我如古グスク



比屋良川沿いの丘陵にあり、伝承によると我如古大主という人物によって築城されたといわれています。現在は我如古大主を祀る祠があり、グスクヌカーといわれる聖地があります。